

グループホーム無量荘運営推進会議を活用した外部評価予定

No	タイトル	項目	予定日
I：理念・安心と安全に基づく運営			
1	事業所と地域のつきあい	事業所は利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理念や支援方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	9/17
2	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	9/17
3	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密にとり、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	9/17
4	馴染みの人や場との関係性継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	1/21
2：その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
5	チームで作る介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人・家族・必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に則した計画を作成している	1/21
6	一人ひとりを支えるための事業所の多様化	本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	11/19
7	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	11/19
8	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	3/18

3 : その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
9	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援を行っている	1/21
10	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外にでかけられるような支援に努めている。また、普段はいけないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	1/21
4 : 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人一人の確認項目）			
11	生活の継続	本人は自分の意向、希望によって戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができる	1/21
12	本人が持つ力の活用	本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	1/21
13	総合	本人は、このGHにすることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりより日々を送る事ができている	3/18